

令和 6 年度第 1 回丸亀市地域公共交通活性化協議会 会議録	
日 時	令和 6 年 6 月 26 日（水）15 時 00 分～16 時 40 分
出席者	（委員） 伊藤秀俊、松江康司、池内丈史、上野博史、山下周市（代）宮本重利、上野智弘、津田全史、馬場久美子、大久保剛貴、合田十三夫、森口寛司、新名恵、岩崎晶典、藤田秀光、増田美樹、大西裕子、宮崎耕輔、木村圭佑（代）谷岡拓海、十川裕史（代）森川功士、眞鍋雅彦、秋山ともえ、建石裕美 （事務局） 塊場（都市計画課長）、志村（都市計画課副課長）、大関（都市計画課計画担当長）、眞鍋（都市計画課）
欠席者	天野雄二郎、平井明、高畑美嗣
傍聴者	2 名
議 題	第 1 号 丸亀市地域公共交通活性化協議会規約の改正について 第 2 号 丸亀市地域公共交通計画 令和 5 年度評価について 第 3 号 丸亀市地域公共交通活性化協議会 令和 5 年度決算について 令和 5 年度会計監査報告について 第 4 号 丸亀市地域公共交通活性化協議会 令和 6 年度予算について 第 5 号 丸亀コミュニティバス ダイヤ等改定について 第 6 号 本島コミュニティバス ダイヤ等改定について 第 7 号 地域公共交通確保維持改善事業 令和 7 年度地域内フィーダー系統確保維持計画について 第 8 号 丸亀市地域公共交通計画一部改訂について その他 ・丸亀市 AI デマンド交通について ・四国新幹線の整備について
発 言 要 旨	
事務局（塊場）	《開会》 《あいさつ》 《新任委員、事務局職員紹介》 本日の委員の出席は 22 名で、委員 25 名の半数以上の出席となっていますので丸亀市地域公共交通活性化協議会規約第 6 条第 2 項の規定により本会議が成立していることをご報告いたします。 また、本会議は原則公開し傍聴することも可能となっています。会議終了後には会議録を作成し市のホームページにて公表いたします。 それでは議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては宮崎会長にお願いいたします。
会長	
事務局（塊場）	

会長	それでは議事に入ります。 議案第 1 号「丸亀市地域公共交通活性化協議会規約の改正について」、事務局より説明をお願いします。
事務局（真鍋）	《説明》
会長	ただいまの説明について何かご質問はございませんか。 特にご意見がないようですので議案第 1 号についてご了承いただけたということで進めさせていただきます。 次に、議案第 2 号「丸亀市地域公共交通計画 令和 5 年度評価について」、事務局より説明をお願いします。
事務局（大関）	《説明》
会長	ただいまの説明について何かご質問はございませんか。
岩崎委員	私の住む岡田地区は人口が少ない地域ですが、そこでコミュニティバスの自由乗降区間を設定していただきたいです。琴南地区から坂出方面の間は設定されています。高齢化していてバス停まで歩くのが大変ですので考えていただきたいです。
池内委員	琴参バスの池内です。坂出市やまんのう町で一部設定しているところがあります。まんのう町では道路がまだ整備されていないときに山から道路に出てくるまでに時間がかかるということで自由乗降区間を設定した経緯がありますが、今は道路が整備され交通量も増えていますので自由乗降が適切かどうかというところがあります。今年の 3 月末で廃止された善通寺市の空海号も自由乗降でした。交通状況や安全にバスを停車できるかどうか、利用者が安全に乗降できるかどうかというところでバスの遅延や交通事故が発生するかもしれませんので、警察や地元住民と協議しながらにはなりますが、現在のところ新たにコミュニティバスで自由乗降区間を設定できる場所はないと考えています。
会長	善通寺市の空海号については乗務員が利用者の乗りたいという意思表示の判断が難しく利用者が乗れなかったという苦情も多々あったと聞いています。また道路事情が良くなっていて制限速度が設定されてはいるものの結構スピードを出す車も多いです。安全上の観点から自由乗降区間を取りやめるケースが県内で増えている印象があります。それに代わるものがどういったものが良いのかについては地域で様子を見ながら検討していく必要があると思います。

森口委員	警察としますと道路事情によっては急に車が止まって交通事故が発生すること も予想されますので交通状況と合わせながら判断していく必要があると思います。
会長	安全上の管理をしながら、かつ地域の方が利用しやすい方法を模索していく時期 に入っているとは思いますので関係者と議論していきたいと思います。 資料の中で利用状況についての話がありましたが最近のコロナを経てからの公 共交通の利用状況についてそれぞれご説明いただけますでしょうか。
上野委員	JR 四国の上野です。コロナが 5 類になってからお客は元に戻りつつあります。 特に通勤・通学の定期券でのご利用はかなり戻ってきています。旅行や出張などの 定期外はコロナ前と比べて 9 割までは戻っていない状況です。海外のお客は徐々 に戻りつつあります。ただ、東京や京都などの観光地にはたくさん来ているよう ですが四国方面にはそこまで来ていない印象でこれからかなという感じです。3 月に 高松駅に新駅ビルの高松オルネを開業させていただき開業効果として近距離の高 松駅をご利用のお客は増えているようです。高松駅周辺には新アリーナの建設や 徳島文理大学様のキャンパス移転もあり、だいにぎやかになりますので JR ご利 用のお客が増えていければと思います。
池内委員	コロナが 5 類になってから利用者は増えていて路線バス全体ですとコロナ前より 約 6%回復傾向にあります。丸亀市内のコミュニティバスですと令和 5 年度の利用 者数が 28 万人を超え、令和元年度の 25 万 8 千人を大きく上回っている状況です。 コロナ禍で利用者数が減少したところ回復していこうという取組である運賃の無 料キャンペーンが大きく影響したと思っています。1 日 700 人くらいの利用でした が、今年の 5 月はお城まつりもありましたし多くの方がバスに乗られる時期とい うことで平日ですが 1 日 900 人のご利用がありました。バスに普段乗られていない方 に乗っていただけるように事業者としてもやっていきたいと考えておりますがバ スの乗務員不足のこともありますのでいかに効率よく運行するかが課題の一つで あります。
津田委員	ことでんの津田です。ことでん全体で言いますと JR さんと同じような感じです。 丸亀市内ですと岡田駅と栗熊駅があり、栗熊駅はパークアンドライドの利用者数が 100%で駐車場を多くできないかとご要望をいただいています。岡田駅のパークア ンドライドは満車ではないですが多くなっています。レオマなどとの企画切符など 集客していて岡田駅の利用客もで少しですが多くなっています。
馬場委員	デマンドタクシーですが 5 月から琴参タクシーさんとうちとで 1 台ずつ交代でさ せてもらっています。回数券を購入して利用している方もおられるようでだいぶ数的

宮本氏 (山下委員代理)	には伸びてきています。市内のタクシー業者だけでは南方面は手が回らない状況です。のでデマンドタクシーは必要だと思います。市の方でもコミュニティセンターなどで宣伝などしていただければと思います。 本島汽船の宮本です。昨年は2～3月、今年は2月に航路無料キャンペーンを実施していただき多数のお客様が本島へ渡られました。今年度は毎月20日が無料デーとなっていてこれについてもかなりお客様が来られています。
会長	ありがとうございました。各公共交通機関とも需要が増えてきている状況ということでしたが、一方で市の財政支出額が増えていて、収支率も悪化しているということです。これは経費が上がってきているということです。公共交通は民間企業として事業を行なっておられますので、経営努力をすべきという話になります。地方における公共交通については、民間企業の考え方での経営は難しくなっており、公共交通の利用者を増やすことを目指すといった考え方で取り組んでいくのが望ましいかなと思います。無料デーでお試して公共交通を利用してもらい、意外にも便利だなと感じて、公共交通を利用してくださる方が増えてくれば良いですし、逆にあまり便利ではないというところは改善が必要ということで、無料デーで利用された方について、リサーチした方が良いかもしれないです。
秋山委員	利用者を増やす対策として乗り方教室の実施というのはとても良いと思いました。利用する際に目的の時間までに到着するかどうかというのは公共交通では大切なところだと思います。時刻表で「何時までに着くには」というのが分かるように工夫されていれば利用しやすくなるのではないかと思います。「バスきよん？」のアプリがあったと思いますが、知らない方もいらっしゃるのでは知ってもらう工夫をすると乗る人が増えるのではないかと思います。
会長	時刻表については紙ベースのものが多くようですが、丸亀コミュニティバスについてはGoogle Mapで検索することができます。Google Mapで検索すれば時間も表示されますのでご活用いただきたいですし、周知もやっていってほしいと思います。 他にご意見もないようですので、議案第2号についてご承認いただけたということで次に移ります。 議案第3号「丸亀市地域公共交通活性化協議会 令和5年度決算について及び令和5年度会計監査報告について」、事務局より説明をお願いします。
事務局（真鍋）	《説明》

松江委員	《監査報告》
会長	数年前に国の補助制度が変わりましてコミュニティバスの国庫補助金が協議会の口座に入り協議会で処理するようになっています。 特にご意見もないようですので、議案第3号についてご承認いただけたということで次に移ります。 議案第4号「丸亀市地域公共交通活性化協議会 令和6年度予算について」、事務局より説明をお願いします。
事務局（真鍋）	《説明》
会長	ただいまの説明について何かご質問はございませんか。 特にご意見もないようですので、議案第4号についてご承認いただけたということで次に移ります。 議案第5号「丸亀コミュニティバス ダイヤ等改定について」、説明をお願いします。
池内委員	《説明》
会長	大幅な減便で大変だと思いますが、説明がありましたとおりドライバー不足という問題からこういった話になっています。10月1日からということで、道路運送法の関係からこの会議で合意がないと進めませんので何かご質問などありましたらお願いします。
岩崎委員	綾歌宇多津線で岡田コミュニティセンターから下土居まで岡田小学校の前を通ってまっすぐになるとのことですがこれはいつからですか。
池内委員	10月1日からです。
岩崎委員	家の隣の人が労災病院に行くのにバス停が近くて良いとおっしゃっていたので急に変わると困るかなと思い質問しました。 それとバスの時刻表を中讃ケーブルに掲載していましたよね。まだしていますか。
池内委員	中讃ケーブルさんが掲載しているそうです。

岩崎委員	配布される時刻表と中讃ケーブルの時刻表が違ったことがあります。違うと困りますのでその辺りしっかりしてほしいと思います。
事務局(大関)	以前にも同様のご意見をいただきましたので時刻表が変わるときはなるべく早く中讃ケーブルさんに情報提供するようにしています。 (※会議終了後確認したところ、現在中讃ケーブルさんにはバスの時刻表の掲載はありませんでした。)
会長	本件は、全国的に問題となっているものです。Google Map には、全国のほぼすべてのバスの時刻が載っていますが、2024 年問題でこの 4 月に全国の多くのバス会社が、ほぼ同時期に時刻の改定を行いました。このため、新しい情報が反映されていないとか、乗継によって料金が違うなど問題が全国各地でありました。マンパワーで対応しているところもあるので、改定時期が重なるところは、情報の更新が遅れる可能性がありますので、皆様方からも正しい情報は、バス会社や市役所で入手するということを上手に活用していただければと思います。今回の改定が 10 月 1 日付なのはバスの補助年度が 10 月 1 日スタートになっていて、10 月 1 日の改定も多くなりますので皆様で情報共有していただいて気をつけていただきたいと思います。
池内委員	岡田地域のルート変更についてですがコロナ前からこちらに利用者がいるということで迂回して 32 号を經由して岡田コミュニティセンターへ向かっていましたが利用率は低く、5 月の利用状況では岡田東団地、岡田西、森俊、井岡の 4 カ所のバス停の一日の利用者数は計 5 名ほどでした。運行時分の短縮ということでこのようなルートにさせていただきました。乗降センサーのデータで利用が少ないところについては見直しの時期に入っていると思います。
事務局 (大関)	琴参バスさんより説明のありました減便とルートの変更については 7 月中にプレス発表する予定ですのでそれまでは一応外に出すのは控えていただきますようお願いします。
会長	利用が少ないから減らすというよりは、利用があるところも乗務員不足の関係で減らさざるを得ない状況であるということですね。坂出市も同じような状況で、いろいろハレーションが出ると思います。4 月 1 日に高松市のことでんバスが減便され、現場でも混乱が生じています。香川高専の前のバスも大幅に減便され、大変な状態となりました。波紋が広がるのは目に見えています。こういう状態になっているのをどのように対応するのかについて、検討すべきです。しかし、減便までの時間がなく、10 月 1 日で実施可能な対応策を見出せるだけの関係者間の連携が構築できていないため、この場で検討することは難しいと思います。ちなみに、同じ琴参バスが運行されている坂出市の場合を紹介します。琴参バスの乗降センサーのデー

	タを見ると便ごとの利用者数の中央値で 10 名ほど利用のある便も減便せざるを得ない状態です。丸亀市は通勤通学の時間帯の減便もありますので利用者への手当てをどうすればいいのか考えていかなければならないと思います。心苦しいですがこれで進めざるを得ないということでご理解いただきたいと思います。今後継続的にどうしていくのか検討していかないといけないですし、皆様から何かアイデアがありましたら、この会議もしくは事務局までご一報いただきたいと思います。 他にご意見もないようですので、議案第 5 号についてご承認いただけたということで次に移ります。 議案第 6 号「本島コミュニティバス ダイヤ等改定について」、事務局より説明をお願いします。
事務局（大関）	《説明》
会長	これも先ほどの乗務員の関係でということでしょうか。
事務局（大関）	これは乗務員の空き時間を利用して便数を増やしています。
会長	特にご意見などないようですのでご承認いただけたということで原案どおり進めていただければと思います。 次に、議案第 7 号「地域公共交通確保維持改善事業 令和 7 年度地域内フィーダー系統確保維持計画について」、事務局より説明をお願いします。
事務局（真鍋）	《説明》
会長	ただいまの説明について何かご質問はございませんか。 特にご意見などないようですので、議案第 7 号についてご承認いただけたということで次に移ります。 議案第 8 号「丸亀市地域公共交通計画一部改訂について」、事務局より説明をお願いします。
事務局（大関）	《説明》
会長	公共交通の計画期間はいつまでですか。
事務局（大関）	2025 年度末までです。

会長	特にご意見などないようですので承認とさせていただきます。 以上で、予定しておりました議事についてすべて終了しました。その他として「丸亀市 AI デマンド交通について」、事務局より説明をお願いします。
事務局（大関）	《説明》
会長	ただいまの説明について何かご質問はございませんか。
岩崎委員	2 番の利用者属性のところでは不明というのはどういうことでしょうか。
事務局（大関）	利用申込の方法として電話とスマートフォンがあります。スマートフォンでは自分の情報を登録しますが性別を登録していない場合、また電話ではどちらかわからない場合、不明として取扱いをしております。年齢についても同様です。運転手への聞き取りでは大半が高齢者の方になるそうです。
会長	継続するにあたり、誰が費用負担をするのかなど課題も山積していると思いますが、かなり利用者が増えてきているようで喜ばしいことです。チラシの地図も前回の協議会で申し上げましたが、コミュニティバスの路線図を追加してもらって、デマンドとコミュニティバスを利用して移動範囲を広くしてもらおうというイメージです。丸亀市は地形が平野で非常に面積も広いので、こういった移動サービスが良いのか難しい地域ではあります。地形の影響は大きく、たとえば長崎は路面電車がよく使われていますが、長崎は平野部が少なく路面電車が走っているところが谷間となり、道路もその谷間にしかない。すると、どこかに移動しようとする、その谷間の道路を利用するしかなく、みんながその道路に集まってくる。そのため、自動車はもちろん、谷間を走っている路面電車はじめとする公共交通も利用されています。資料にはありませんが大体利用申込をしてから 10 分以内で配車されていましたよね。
事務局（大関）	はい、そうです。
会長	続いてその他「四国新幹線の整備について」、説明をお願いします。
森川氏 (十川委員代理)	《説明》

会長	ただいまの説明について何かご質問はございませんか。 新幹線の整備により、四国から東京などへの移動時間が短縮されますが、四国内での移動が大幅に変わると思います。県内の民間事業者の方にお話を聞くと、四国新幹線がない現在は、高松から松山市への移動は、車で行くのと JR で行くのとでは時間はさほど変わらないが、JR で行くと松山駅から先の客先への移動も発生し、その分、移動時間が余分にかかってしまう。そのため、香川から松山への出張は、車で往復しているとのこと。車でいきますと片道 2～3 時間かかりますので往復ですと 1 日がかりになります。新幹線が開業しますと、それが 30～40 分で行けるようになると言われていいますので、大幅に世の中が変わると思います。一方でコロナ過より通勤通学はそれなりに戻ってきていますが、オンライン会議が増え、出張が減っているとも言われています。オンライン会議は終わればそれで終了ですが、対面の会議ですと電話やメールするほどではない雑談の場面があって、この雑談が、次のイノベーションに繋がる可能性があります。しかし、オンライン会議を多用することにより、この雑談の時間がなくなってしまって大丈夫かなと思っています。新幹線や飛行機の利用が 8～9 割しか戻っていないのはそういうところではないかと言われています。 他にご意見もないようですので、全体を通してなにかありますでしょうか。 マスコミなどでは「2024 年問題やコロナの影響で」とひとまとめにされてしまっていますが、地域によって、個別の事情があるようですので、その地域独特の状況をみて、そこの地域課題は何かを見出していないといけません。丸亀市ではコミュニティバスを中心にいろいろ取り組んできておられます。一方で AI デマンドなどいろんなチャレンジもされ、さらには互助による輸送もされていますので、いろいろ見ながら、どのように地域に展開していくのかについて、皆様で知恵とかアイデアを出しながら暮らしやすい地域、みんなが丸亀で育ち丸亀に戻ってくる地域になればと思いますので今後とも皆様よろしくお願いします。 特にないようですので、進行を事務局へ戻します。
事務局（塊場）	《閉会》